

あじさい茶会

白く美しいあじさいや、子どもたちが作ったあじさいやかたつむりが見守る中、お茶会がありました。



雨がぼつぼつ降る中、地域の茶の先生にご指導いただき、お茶の作法を体験したり、お抹茶やお菓子を頂いたりしました。年中児や年長児は去年の経験を活かして少し緊張しながらも真剣な眼差しでお抹茶を点てました。また、運んだりして、いつもより少し大人びた様子も見られました。お茶会が初めての年少児は、両手でお菓子を大事そうに持って友達に運び、とても満足そうな表情が見られました。子どもたちはお抹茶を飲んで「おいしい！」と言う子もいれば、「こがーいー」と言う子もいて、それぞれの感想が聞こえてきました。

お茶会を通して、季節を味わいながらとても楽しい経験になりました。

飯山北小学校

屋島集団宿泊学習で学んだこと

五年一組 田井利玖亜

屋島少年自然の家に行きました。最初に、入所の集いで学校紹介をしました。昼食後にカッター活動が始まりました。説明を聞いているうちに風が強くなり、中止になりました。カッター活動が、塩水プールで泳ぐことができました。入浴を終え、いよいよキャンプファイアです。ぼくたちのチームは伝言ゲームをしました。先生方も飛び入りでもスタンプをしてくれました。とてもおもしろかったです。次の日は、いかだ活動でした。班長の指示にしたがって行動しました。いところが見られました。真鍋さんはみんなが活動しやすいように指示してくれるところ、岡子さんは大きくかけ声を出すところ、中北さんは分かんなくならぬところ、くれるところ、山口さんはみんなのことを思いやってくるところ、です。それ以外にいいところがあったから、いかに完成したところかと思いましたが、ごぐタイミングもぴったりでした。

一人が協力するのと、最大限の力を発揮できるときは、学びたい。今後の生活



飯山中学校

6月15日 (水)

第67回丸亀市中学生徒弁論大会で飯中が2冠

生涯学習センターにおいて弁論大会が開催されました。

丸亀市の6つの学校から11名が出場し、飯山中学校からは、宮崎乃愛(のあ)さん(論題は「みんなありがとう」一育成だよりかめっ子に掲載)と藤井結愛(ゆあ)さん(論題は「命(ぬち)どう宝(たから)」一下段に掲載)が出場し、団体優勝しました。そして、宮崎さんは最優秀賞に輝き県大会に出場しました。本当におめでとうございます。



宮崎乃愛さん3位受賞

7月7日 (木)

第67回香川県中学生徒弁論大会が高松市国分寺ホールで開催され県内各地区の代表者14名が論戦を交わしました。

地区代表ともなるとさすがにレベルが高く大接戦の中、丸亀地区代表で出場した飯山中学校3年宮崎乃愛さんは大健闘し、優秀賞3位を獲得しました。すごいですね!

* 宮崎さんの弁論原稿は、かめっこ8月号に掲載されています。

「命どう宝」

三年 藤井 結愛

「命どう宝」、この言葉は沖縄の方言で、「生命は何よりも大切なもの」「命こそが尊い一番大切な宝である」という意味です。

修学旅行で沖縄の戦跡地を見学したときに、強く印象に残っているものがあります。「上からの命令は絶対だった。人を殺さなければならなかった。自分の意志ではないとしても、自分が人を殺したことに変わりはない。七十年たった今でも、あの時引き金をひいた人差し指の重みが残っている。」当時日本兵だった方がおっしゃった話だそうです。私は、この話を聞いたときに、胸がすごく苦しくなりました。戦争では何よりも大切な命が簡単に失われていったのです。何の罪もない方が巻き込まれ、本当にたくさんの方が命を落としました。沖縄戦は、美しく平和な島に訪れた最大の悲劇です。このことを知った私は、戦争は絶対にしてはいけな

いと心の底から思いました。今、私は平和な時代を生きています。戦争を知らない世代です。しかし、忘れてはいけないのは、あの犠牲になつた方達がいたから今の平和な世の中があり、私達がこうして平和に過ごせているという事です。そして、その事を決して忘れず、戦争について学んだことや感じたことを次の世代に伝えることが大切だと思えます。世界中から戦争や紛争が無くなることを願います。